



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果	既存港湾施設での対応方法を示し、改良が必要な場合はその方法を把握できる。									
指標	指標名									指標の種類
	指標式									成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）									
	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	最終年度	
	目標a									
	実績b			データ等の出典						
	東北									
	全国									
	把握する時期 当該年度中 月 翌年度 月 翌々年度 月									
	指標を設定することができない場合の効果の把握方法 指標を設定することが出来ない理由									
<p>既存港湾施設で対応可能かを判断する検討であり、指標により達成度を表すものでないため。</p> <p>見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)</p> <p>検討結果により、今後の港湾施設の計画に資する。</p>										

事業の必要性	
現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性	港湾施設は洋上風力発電施設の建設・維持管理の拠点となるものであり、対応について検討が必要である。
住民ニーズに照らした事業の必要性	資機材の搬出入や船舶の係留が支障とならないように、洋上風力発電施設の効率的な建設・維持管理のために資する必要がある。
事業の県関与の必要性	法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの 公共岸壁・ふ頭用地に係る検討のため、県が行う必要がある。

		政策評価委員会意見	重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定
		重点事業	その他